FREE
ご自由に お持ちください。

No.838
2023 July
7

岐阜県の森林・林業

森林（もり）のたより

News of the forest

東京オリパラ提供木材活用施設の紹介

●詳細は3ページをご覧ください

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（7～9月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
7月～9月	**脱炭素社会から始まるREBORN森・里・川・海つながLINK親子体験ツアー（夏コース）**	概要：親子で自然体験や環境学習、環境保全活動等を楽しみ学ぶプログラム 定員：各回20名～40名 参加費：3,000円～6,000円程度	株式会社日本旅行岐阜支店 058-265-7501
7月27日㈭	**岐阜県木の国・山の国県産材利用促進フォーラム**	岐阜県木の国・山の国県産材利用条例の施行に際し、県産材利用の取り組みを促進するためのフォーラムを開催します。 ●時間：13:30～16:30 ●申込：～7/14（但し先着順） ●定員：370名（無料）	県庁ミナモホール 申込先： ㈱岐阜新聞社／058-264-1158
7月28日㈮～7月30日㈰	**WoodGo!!2023**	「ぎふの木」をテーマに、子どもも大人も遊びながら、木にふれあい、学び楽しめるイベントを開催します。会場にはウッドチップが敷かれた森が出現。木のジャングルジムを組み立てる「くむんだー」をはじめ、カフェトレーやヒノキの削り花のブーケ、植物蒸留のアロマづくりなど、本格的な木工体験ができます。	柳ケ瀬グラッスル37Gテラスおよび岐阜高島屋10階催場 WoodGo!! 実行委員会事務局（岐阜商工会議所内）/058-264-2131
8月3日㈭	**狩猟免許試験（わな猟）**	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：6/29～7/13 ※事前に申請書類等の提出が必要です。 詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜県立森林文化アカデミー 各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL:058-272-8231
9月2日㈯	**狩猟免許試験（網・わな猟）**	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：7/27～8/10 ※事前に申請書類等の提出が必要です。 詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜大学全学共通教育講義棟 各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL:058-272-8231

目次 Contents

イベントカレンダー（一般向け）……2
東京オリパラ大会選手村ビレッジプラザに提供していた県産木材を活用した施設ができました！……3
緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました……4
令和4年度「岐阜県木造建築マイスター」「岐阜県木造住宅相談員」を認定しました。……4
地域の人　下呂の森の魅力を発信……5
多発する山地災害への備え……6
2023（令和5）年度　山地災害防止標語及び写真コンクール……6
令和4年度　治山・林道写真コンクール……7
林地開発許可制度が変わりました!!……7
山の歳時記（215）　オトギリソウ……8
山のおじゃまむし（384）　―ジェット機が飛ばない、大型連休―……9
ぎふ木遊館通信……10
morinosプログラム紹介!!……11
脱炭素社会から始まるREBORN森・里・川・海つながLINK親子体験ツアー……12
『地域循環共生圏』の構築に向けた取組を支援します……13
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり"(2)……14
木の香るぎふの施設（124）　家庭保育園くつく　大平分園……15
森林と人を活かす知恵（126）　森で楽しむナイフで遊び……16
研究コーナー　雪害の危険度が高い林分の把握について……17
普及コーナー　山づくりに真摯に向き合う～森林所有者の自主的な取組の支援～……18
森林技術開発・支援センター　きのこ通信(1)……19
国有林の現場から（81）　中津川市加子母地区森林整備推進協定……20
林業者向けお知らせ……21
市況……22

表紙●詳細は3ページをご覧ください。

東京オリパラ大会選手村ビレッジプラザに提供していた県産木材を活用した施設ができました！

令和元年度に、東京オリパラ大会選手村ビレッジプラザの建物を建てるため、県と6市町村（関市、中津川市、郡上市、下呂市、白川町、東白川村）が提供した木材は、令和3年度の東京オリパラ大会終了後に岐阜県に返還されました。

県では、これらの返還木材を活用し、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを次世代に繋ぐことができるよう、多くの県民が利用される「ぎふ木遊館」や「ぎふワールド・ローズガーデン」など7つの県有施設に休憩施設やベンチ等を設置し、4月28日に「ぎふ木遊館」にてお披露目式を開催しました。

今後は、これらの施設を県民の皆様に活用していただき、県産材が持続可能な資源であり、また優れた素材・製品であることを感じていただきたいです。

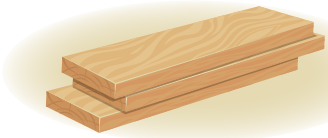
ぎふ木遊館休憩施設兼遊具お披露目式の様子

○県有施設における提供木材活用施設の概要

施　設　名	品　目	設置数
ぎふ木遊館（岐阜市）	休憩施設兼遊具	1
ぎふワールド・ローズガーデン（可児市）	東屋	2
森林文化アカデミー 森林総合教育センター morinos（モリノス）（美濃市）	東屋	1
清流長良川あゆパーク（郡上市）	東屋	1
岐阜メモリアルセンター（岐阜市）	ベンチ	20
OKBぎふ清流アリーナ（岐阜市）	ベンチ	10
岐阜県庁（岐阜市）	ベンチ	3
計		38

※上記に加え、ぎふ木遊館で国旗の積み木などのおもちゃや遊具に活用されています。
また、関係市町村でベンチなどへの活用が予定されています。

県産材で建設された東京オリパラ大会
選手村ビレッジプラザの建物



ぎふワールド・ローズガーデン東屋

森林文化アカデミー東屋

清流長良川あゆパーク東屋

岐阜県庁ベンチ

OKBぎふ清流アリーナベンチ

【県産材流通課　中通　実】 詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(4366) 県産材流通課まで

緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました

6月9日（金）に開催した公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第12回定時総会の席上で、野島征夫会長（県議会議長）から次の方々に表彰状並びに感謝状をお贈りしました。

表彰を受けられた皆様には、これからも地域の森林づくりや緑化活動に益々ご活躍されますとともに、緑の募金にご協力をよろしくお願いいたします。

■緑化功労者岐阜県緑化推進委員会会長表彰

付知町優良材生産研究会　（中津川市）

特定非営利活動法人
飛騨高山わらべうたの会　（高山市）

■緑の募金感謝状

イオンビッグ株式会社	（名古屋市）
株式会社平和堂	（滋賀県彦根市）
ダイドードリンコ株式会社	（大阪市）
株式会社岐東建装	（岐阜市）
一般社団法人岐阜県ＬＰガス協会	（岐阜市）
中部事務機株式会社	（岐阜市）
岐阜トヨペット株式会社	（羽島郡岐南町）
株式会社河合寿司	（大垣市）
西濃緑化推進協議会	（大垣市）

（敬称略）

左から 付知町優良材生産研究会、野島会長、（特非）飛騨高山わらべうたの会

左から 中部事務機（株）、（株）岐東建装、野島会長、ダイドードリンコ（株）

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事　田中 敏隆】

令和４年度「岐阜県木造建築マイスター」「岐阜県木造住宅アドバイザー」「岐阜県木造住宅相談員」を認定しました。

県では、非住宅分野の木造建築物の設計等に対応できる建築士を育成するため「岐阜県木造建築マイスター養成講座」を開催しています。また、県産材を使用した住宅の提案や相談等に対応できる人材を養成するため、建築士を対象とした「岐阜県木造住宅アドバイザー養成講座」を、工務店の営業担当者等を対象とした「岐阜県木造住宅相談員養成講座」を開催しています。

令和４年度は、新たに6名を「木造建築マイスター」、４名を「木造住宅アドバイザー」、13名を「木造住宅相談員」として認定しました。

令和5年度も養成講座を開催する予定です。詳しくは県産材流通課のHPをご確認ください。

【県産材流通課　中通　実】

●認定状況

資格名	R4認定者	累計認定者	認定開始
木造建築マイスター	6名	23名	H29
木造住宅アドバイザー	4名	314名	H18
木造住宅相談員	13名	213名	H24

●令和４年度新規認定者一覧

「岐阜県木造建築マイスター」認定者一覧

認定番号	氏名	所在地	勤務先
0401	今井　通陽	中濃	インフィニティ今井1級設計事務所
0402	岡島　和博	西濃	㈲肥田設計
0403	小川　　徹	岐阜	ひだまりほーむ㈱鷲見製材
0404	森　　英明	岐阜	ヤマガタヤ産業㈱
0405	山口　継道	岐阜	㈱デザインボックス
0406	山崎　　明	岐阜	㈱ WOODYYLIFE

「岐阜県木造住宅アドバイザー」認定者一覧

認定番号	氏名	所在地	勤務先
0401	岡島　和博	西濃	㈲肥田設計
0402	高木　清美	中濃	髙木組　髙木設計事務所
0403	長尾　則子	岐阜	はーと木造住居スタジオ
0404	羽田野哲也	岐阜	山喜建設㈱

「岐阜県木造住宅相談員」認定者一覧

認定番号	氏名	所在地	勤務先
0401	荒川佐重子	愛知	㈱新和建設
0402	大上　瑞希	可茂	㈱新和建設
0403	木下　瑛翔	愛知	㈱新和建設
0404	坂野　叶佳	愛知	㈱新和建設
0405	瀬辺　陸史	可茂	㈱新和建設
0406	瀧　　怜慧	愛知	㈱新和建設
0407	中村　遼介	愛知	㈱新和建設
0408	酉脇　陸斗	愛知	㈱新和建設
0409	田中　奨真	岐阜	㈱鷲見製材
0410	岡崎なつみ	中濃	㈱大和工務店
0411	林　美百合	中濃	㈱大和工務店
0412	羽土　洋佑	郡上	㈱高橋建設
0413	古田　千也	可茂	東白川村役場 地域振興課 フォレスタイル事務局

（敬称略）

令和4年度の養成講座の様子

講座実施状況

県産梁桁材強度試験見学状況

マイスター講座グループ発表状況

原木市場見学状況

熊﨑さん

下呂の森の魅力を発信

合同会社２１６WORKS（ニジイロワークス）
代表社員
熊﨑（くまざき）　潤（じゅん）さん

今回は、下呂市小坂町で生まれ育ち、現在は合同会社２１６WORKS（ニジイロワークス）の代表社員、NPO法人飛騨小坂２００滝の理事を務める熊﨑潤さんを紹介します。

NPO法人飛騨小坂２００滝（以下２００滝）で滝めぐりのガイドをしていた熊﨑さんは非営利団体であるNPO法人では営利を目的としたガイド活動に限界を感じていました。

そこで２００滝は滝めぐりに必要な施設の維持管理、植生モニタリングといった非営利部門を受け持ち、滝めぐりのガイドといった営利を伴う事業を行うことができる組織を立ち上げる必要性があると考えられ、２０１８年４月に合同会社２１６WORKSニジイロワークス（以下ニジイロワークス）を設立し、２００滝と連携した取り組みを開始し下呂市小坂町内外で活動されています。

コンセプトはサービスの地産地消

下呂市には滝もある、森もある、文化もあると考え、下呂市ならではのアクティビティーを提供されています。

その活動は多岐にわたっていて、その一端を紹介します。

※滝めぐり

飛騨小坂にある２００を超える滝のガイドはもちろん行われています。

最近人気なのは小坂町濁河の結氷した滝の案内とシャワークライミングとのことです。

※森の活用

日本一の溶岩台地と知られる、溶岩台地上にある原八丁へ続く歩道の整備や道標やベンチの設置といった施設整備を行い数多くの人が訪れるようになっています。

この施設を活用し、下呂市内で人気の飲食店の協力を得て行うカフェトレッキングが、人気があるとのことです。

それ以外にも様々なプログラムの提供が行われています。

アクティビティーの提供はニーズをとらえて

提供するプログラムは、訪れる方々のニーズを把握したうえで提供をするように心がけられています。

外国から訪れる方に多いとのことですが、来訪される前に事前に打ち合わせを行い、来訪される方のニーズにあったプログラムを提供することが多くなってきているとのことです。

その時は地域密着型であることが必要で、地域文化を実感できるように工夫する必要があるとのことです。

アクティビティーのツールは、訪れる方のニーズによりe-bikeでのサイクリングであったり、トレッキングや沢登りであったり、様々な要素が盛り込まれます。

次世代につなぐ

熊﨑さんは、全ての活動は次の世代を育成することにつながると考えられていて、NPO法人森のなりわい研究所と連携し、下呂市内の森に、市内の子供達を招き入れ森林環境教育にも取り組まれています。

森を訪ねるハードルを下げる

熊﨑さんは、自然の中での体験が少ない人の中に、自然で遊びたいというニーズがあると言われます。

多くの人が森に訪ねるようになるためには、森を訪ねるハードルを下げ、きっかけを作ることが大切だと言われます。

そのために必要なプログラムを構築し、様々なアクティビティーを提供していきたいと語られました。

今後の活躍に期待

２００滝の取り組みが「岐阜の宝もの第１号」に選ばれる等、注目を集めてきた滝めぐりのガイドから活動を始められた熊﨑さんは、滝に留まらず、周辺の森や文化を活かしたプログラム開発やアクティビティーを提供されてきました。

その取り組みを更に発展させるため新たにニジイロワークスを設立し現在に至り、現在は下呂市森林管理委員会の委員も務められ、下呂市では欠かせない人となっています。

取材でニジイロワークスの事務所を訪ね様々な話を伺いましたが、話が多岐に及び興味深いことばかりで、下呂市小坂町を核として様々な活動が発展していくと感じました。

その魅力を知りたい方は、ニジイロワークスが提供するプログラムを体験してみてはいかがでしょうか。

２１６WORKS ホームページ
https://216works.jp/

【下呂農林事務所　河原　誠二】

多発する山地災害への備え

例年7月を迎える頃から、全国各地で集中豪雨や大型台風による甚大な山地被害が発生しています。岐阜県においては、昨年8月の集中豪雨により、岐阜、西濃地域を中心に多大な被害が発生しました。

このような被害を防止するため、県では、地形や地質から見て山くずれや土石流の危険度が高く、人家や道路へ直接影響が大きい箇所を山地災害危険地区として、重点的に治山事業を進めています。

また、災害による人的被害を減らすためには、自分の身は自分で守るという自助や共助の取組が重要となります。県民の皆様には、山地災害が発生する前にぜひ、自宅周辺などの山地災害危険地区や避難所を確認するなど、早めの備えをお願いします。

山地災害危険地区の位置は、県域統合型GISからご覧になれます。
（https://gis-gifu.jp/gifu/portal/index.html　より、「山地災害危険地区」で検索）

2023（令和5）年度　山地災害防止標語及び写真コンクール

林野庁、県及び市町村が一体となって実施している山地災害防止キャンペーン（5月20日～6月30日）の関連行事として、「山地災害防止　標語及び写真コンクール」が、一般社団法人 日本治山治水協会の主催で実施されています。

今年度も、山地災害防止に係る標語と写真作品を募集しています。（締切9月22日（金）当日消印有効）

毎年作成される山地災害防止キャンペーンポスターは、このコンクールで最優秀賞に選ばれた作品が採用されることもあります。多くの方からの応募をお待ちしています。

令和5年度
山地災害防止キャンペーンポスター

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

〒100-0014　東京都千代田区永田町2-4-3　永田町ビル4階
（一社）日本治山治水協会　標語・写真コンクール係
TEL：03-3581-2288、FAX：03-3581-1410

【森林保全課　治山係】

令和4年度 治山・林道写真コンクール

県では、治山事業、林道事業の重要性を県民の皆さんに広く紹介し、事業に対する理解と関心を深めていただくため、毎年、写真コンクールを実施しています。

令和4年度は、治山部門21件、林道部門22件の応募の中から、それぞれ最優秀作品を表彰しました。

●治山部門　最優秀賞

題　　目	里山と集落を守る
撮影場所	郡上市大和町大間見南栃
撮 影 者	郡上農林事務所　中澤　耕司

施工から2年経過

●林道部門　最優秀賞

題　　目	林道等を活用したトップレベルの生産性
撮影場所	下呂市少ヶ野大平
撮 影 者	下呂農林事務所　和仁　礼二

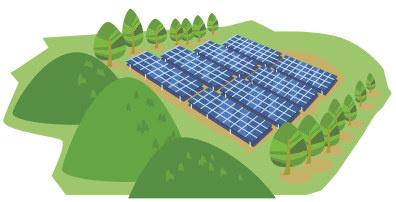
作業道で高性能林業機械を活用

林道沿いの土場に木材集積

林地開発許可制度が変わりました！！

◆令和５年４月1日から、地域森林計画の対象となっている民有林において太陽光発電設備を設置する場合、開発面積※が0.5haを超え1ha以下のものが新たに許可制度の対象となりました。

※採光のために、森林として継続的に維持管理されない土地も含まれます。



◆林地開発許可を取得せずに開発を行った場合には、森林法に基づき、監督処分や罰則が科されます。

●詳しい内容を知りたい方はTEL 058-272-8528　森林保全課森林管理係まで

山の歳時記 215
YAMA NO SAIJIKI

オトギリソウ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

不破郡関ケ原町の道端でオトギリソウを見つけました。

オトギリソウ（Hypericum erectum）は日当たりの良い原野や山地に生える多年草です。

草丈30～60㎝、披針形で先が丸みを帯びた葉柄のない葉が、茎を抱くように対生しています。7月～10月には枝の先端に円錐花序をつけて黄色い花を咲かせ、日没時にはしぼんでしまいます。

オトギリソウの花弁はプロペラのように5枚付き、多数の雄しべは基部で合着して3つの束になっており、雌しべは花柱が3つに分かれています。

オトギリソウ属の葉は透かして見ると油点が観察できる特徴があり、この油点は透明な「明点」と不透明な「黒点」の2種類に分けられます。

オトギリソウの黒点（褐色の油点）は濃赤色の色素ヒペリシン（hypericin）で、葉をアルコールに浸すと簡単に抽出できます。このヒペリシンは光作用性物質で、これを摂取した後に日光（紫外線）に当たると毒性が現われるという変った性質を持っており、皮膚炎や浮腫を生じます。

オトギリソウを食べた牛や馬が太陽光線に当たると、強い皮膚炎を起こして脱毛する事例があり、マウスにオトギリソウを与えた実験では暗所で問題の無かったマウスが日光に当たると急に痙攣を起こして死んだ事例もあります。

江戸時代の百科事典、寺島良安の『和漢三才図会』には、オトギリソウの名は平安時代、花山天皇の頃に名をはせた鷹匠の晴頼（せいらい）に由来すると記されています。その内容は、鷹の傷を治すことで有名であった晴頼は、使用する薬草の名を決して口外せず秘密にしていました。しかし弟がその薬草の名を、ある日他人に漏らしてしまったため、怒った晴頼が弟を斬り捨て、その恋人も後を追ったという言い伝えがあり、その時に弟の血潮が庭の薬草に飛び散って葉に跡が残ったとされ、「弟切草」と名付けられたとされます。

またオトギリソウにはタンニンが多く含まれており、全草を乾燥させたものは生薬で小連翹（しょうれんぎょう）と呼ばれ、寺島良安もオトギリソウは切傷や腫物の妙薬であると記しています。

▲葉を透かすと黒点がはっきり見える

筑波名物ガマの油売りの口上では、「さあさあ、お立ち会い止血の薬はござらぬか、…ガマの油か……オトギリソウ……」とうたわれます。小連翹は煎じたものを切り傷の止血薬や神経痛、リュウマチ、月経不順の鎮痛薬、うがい薬に。生葉を潰して打ち身や捻挫などに利用しました。

道端に咲くオトギリソウを見つけたら、悲しい名の由来も思い出してやって欲しいのです。

山のおじゃまむし

ージェット機が飛ばない、大型連休ー【第384回】

自然学総合研究所　野平 照雄 ● *Teruo Nohira*

今年も大型連休が始まる。長い人で９連休とれると喜んでいる人も多いようだ。しかし、私には関係ない。365連休というか、毎日が休日だからだ。一方、娘（次女、三女）たちは１か月前からそわそわしている。家族で旅行に出かけるので、その準備のためだ。大変なのだろう。よく電話がかかってきた。ある日女房に「自分たちもどこかへ出かけようか」と冗談交じりに話しかけた。「行きたくない」とそっけない返事。これが 80 に近い高齢者家族かと笑えてきた。思えば私も昔はこの連休が楽しみであった。虫採りができるからだ。捕虫網を手にして追いかけたものだ。これが何十年も続いた。そのお陰で貴重種を何種類も手にすることができた。標本を見ていると当時のことを思い出し懐かしくなる。しかし、最近は採集に行く気にならない。体力、特に脚力が衰えたのと、気力が萎えてきたからである。その私に三女から「家族で奥飛騨へキャンプ行くので一緒にどう」と話があった。テントを張って、バーベキューを食べて寝袋で寝るという。このキャンプに子供たちは大喜び。一緒に行きたかったが断った。それは今の時期まだ寒いし、この年になって寝袋で泊まる気にはならなかったからである。２日後、今度は次女から静岡県へドライブ旅行のお誘い。女房は「行く行く。連れてって」と喜んでいたが、私はこれも断った。人と車で混雑しているところへわざわざ出かける気にはならなかったからである。ということで今年の大型連休は私だけで過ごすことになった。

×　×　×　×

５月３日。今日から私一人での生活だ。と言ってもいつもと変わらない。昼前は新聞を読んでテレビを見る。そして 11 時ころから２時間近く散歩に出かける。帰宅後は金魚、メダカの世話であっという間に終わってしまう。散歩でよく出かけるのが飛行場公園（以下、公園）。自衛隊のジェット機が爆音をたてて飛んでいるので、これを見ながら休憩するのだ。ここには大きなカメラを手にした人がたくさん来ている。ジェット機を撮るためだ。多いときは 30 人以上の時もある。迫力あるジェット機を撮るのが楽しいという。このマニアは県外からもたくさん来ている。遠方では宮城、東京、広島、高知県などから来ているから驚いてしまう。ところが５月３日。この日は一人いただけであった。私と同じように散歩の途中だという。その人は言った。「大型連休でどこも混雑しているというのに、この公園はしばらく閉店だね」。

×　×　×　×

翌日も公園へ行った。ところが、いつも歩いている道なのに、今日はちょっと違う。どの家にも何台もの車が止まっているのである。「道を間違えたのでは」と思った。しかし、いや違う「これは大型連休で昨日の夜帰省したので、家でゆっくりしているのだ」と改めて思った。家の前の車が急に増える。これも大型連休だから見られる光景では。そんな気がした。この日は草地の多い場所を選んで歩いた。昆虫類を観察するためだ。よく目にしたのはモンシロチョウとベニシジミ。どこでも見られるので観察したことなどない。ところが観察し始めると面白い。あっという間に時間が過ぎてしまった。飛行場公園についた。高齢者が二人いた。グランドゴルフの練習中でクラブを振っていた。ここへはよく練習に来るという。しかし、ジェット機の飛ぶ日はカメラを手にした人がたくさんいるのでできない。だから大型連休は大歓迎だと喜んでみえた。喜ぶ人、そうでない人「人それぞれ」だと思った。５日、６日も出かけたが、二日間とも数人いただけだった。７日は朝から雨で散歩は中止。これが私の大型連休であったが、あっという間に終わってしまった。この夜、女房や娘家族が帰ってきた。皆楽しかったというから、よかった、よかった。

×　×　×　×

連休が終わって２日後の９日は快晴だった。この日も公園へ向かった。カメラを手にして人が走り回っている。３日前とは大違いだ。これが本来の姿だと思った。ジェット機が爆音をたてて飛んでくる。豪快だ。いつ見ても迫力がある。一斉にパチパチパチパチとシャッターの音。いつ聞いても快い響きだ。つい長居をしてしまう。私はジェット機マニア。いやカメラを持たないジェット機ファンになってしまったと笑えてきた。連休のあとはいつもの生活。女房や娘から「あれやって、これやって。どこどこへ行ってきて」などと言われるので休んでいる暇などない。連休中の生活が懐かしくなる。そんな時の５月１９日、孫の YI ちゃんが「おじいちゃん、誕生日いつだった」と聞きに来た。「しまった」と思った。忘れていたのである。「５月９日だよ。80 歳になったんだよ。でも過ぎちゃった。ごめんね」と謝った。その日は連休が過ぎた２日後で久しぶりにジェット機を見て興奮し、誕生日のことなど頭になかったのである。まさに 80 歳だと笑えてきた。

ぎふ木遊館通信

屋外に「休憩施設兼遊具」が完成！

県と県内 6 市町村は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京オリパラ大会」という。）の選手村ビレッジプラザ建設の際に岐阜県産材を提供しました。このたび、県に返却された木材を利活用することで、東京オリパラ大会のレガシーを次世代につなぐとともに、当館の利用者に木材の再利用による環境負荷の低減や持続可能な社会の実現について認識を高めてもらうことを目的として、屋外に休憩施設兼遊具が設置されました。4月28日には竹下景子名誉館長やいづみ第2幼稚園の園児らをお招きし、お披露目式が開催されました。

休憩施設兼遊具

（参考：本紙 3 ページをご覧ください。）

親子でお弁当を食べてくつろいだり、屋内で遊び足りなかった子どもたちがのびのびと遊び、その傍らでおうちの方が談笑する姿が目に浮かびます。多くの方にご利用いただきたいと思います。

新しい「積木のおもちゃ」が仲間入り！

返還された木材で作った積木や、ボルダリング遊具がぎふ木遊館のおもちゃに仲間入りし、お披露目式が行われた後、いづみ第２幼稚園の園児たちが竹下景子名誉館長と一緒に積木遊びを楽しみました。

積木は２種類あり、東京オリパラ大会に参加した国と地域などの名称と、行われた競技名が書かれており、遊びながら国名や競技名などを覚えられるようになっています。

園児たちは初めて触れる２種類の積木とぎふ木遊館にある木のおもちゃを使い、皆で積木の山を作りました。崩れても何回も積んだり、自分の背より高く積木を積んだりと、楽しく遊んでいました。

さらに積木を楽器代わりにして、皆で歌に合わせて積木を叩き、歌を歌いました。館内には木を叩く心地良い音と可愛らしい歌声が響き渡りました。

新しく仲間入りした積木のおもちゃ

ボルダリング遊具

積木で遊ぶ園児たち

竹下景子名誉館長と一緒に積木を積む園児

やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称ｍｏｒｉｎｏｓ）で実施しているたき火プログラムについてご紹介します！

＜morinosたき火ものがたり　～これまでのトライ&エラー～＞

プロローグ

昔々のお話です。ある時、人類は火というものの存在を知りました。それからというもの、人類はたき火で食べ物の調理や灯り、体を温めるためなど、様々なことに利用してきました。こうしていつしかたき火は人々の生活に欠かせないものとなっていったのです。

第1章　なぜmorinosでたき火？

時は変わり少し前のmorinos。

morinosスタッフA：「森からの恵みのこと、その多様な使われ方を伝えたいな…　そうだ！たき火はどうかな？」

morinosスタッフB：「日本では昔から、森の恵みでたき火をしていたからいいと思う。その中で、たき火をうまく行うには適切な管理が必要なこと、コミュニケーションの場になることも知ってもらいたいね。」

スタッフA：「そうだね。安全に、それでいて他の人のことも考えられるモラルある人を育てるためにも、みんなでゆずりあって使ってもらうようにしよう。」

そうして、morinosでたき火をプログラムとして実施するようになったのでした。

第2章　なぜティピーテントの中ではだめ？

こうして始まったmorinosのたき火プログラムですが、ある時問題を見つけました。当初、ティピーの中でたき火プログラムを実施していたのですが、ティピーの中だとどうしても閉塞的になってしまい、意図せず、みんなの火を1グループが占有してしまうことがあったのです。

スタッフA：「ティピーの中だと、先に人が居ると後から入りにくいし…大人が中に居ると、外で遊んでいる子どものことが見守れない。」

スタッフB：「だからといって禁止してしまったら、morinosの想いは伝えられないよね…　みんなで話し合おう。」

第3章　ティピーからひろばへ移動

たき火プログラムをコミュニケーションの1つとしたいmorinosスタッフ達は、話し合いをおこないました。

スタッフA：「ティピーの中だと、閉塞的になってしまって後から入りづらいね。」

スタッフB：「そうだね。そうなると、たき火を占有してしまうことにもなって、コミュニケーションの場にできないね。」

スタッフA：「そうだ！たき火をひろばに移動するのはどうかな？」

スタッフB：「いいと思う。決まった入り口がないから入りやすいし、スタッフも見守りやすい。」

スタッフA：「これでスタッフからたき火について伝えやすくもなったね。」

こうして、今年度からたき火プログラムの実施場所をひろばへ移動したのでした。

＼ティピーって何？／

平原に住む、ネイティブ･アメリカンの家のこと。
テントに似ているけど中でたき火ができる。

エピローグ

これからもmorinosでは話し合いながら、想いをみなさんに届けられるよう、努力していきます。
晴れているときは基本的にひろばで、雨のときは濡れてしまうため、ティピーの中でたき火プログラムをおこなっています。

morinos　HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ　https://morinos.net
YouTube　検索「morinosチャンネル」
開館時間　10:00～16:00
定休日　毎週火･水曜日

morinosHP
YouTube「morinosチャンネル」

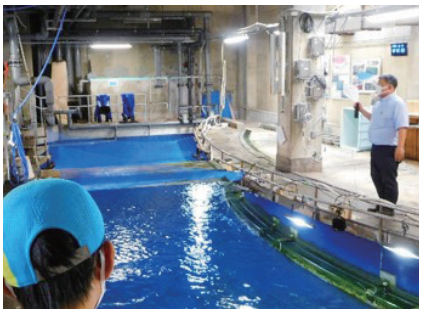
令和5年度 清流の国ぎふ 森里川海 つながLINK リンク 脱炭素社会から始まる REBORN 夏コース 親子体験ツアー

岐阜県では、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について親子で考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーを実施しています。ぜひご参加ください。

【令和5年度ツアー（夏コース）】

実施日	コース名	対象年齢	主な行先	予定参加費/人
7/16（日）	干潟ってどんな役割があるのかな？？ 藤前干潟の生き物観察と名古屋港水族館バックヤードプチ見学	小学1年生以上	愛知県 名古屋市	大人 4,100円 小人 3,100円
7/17（祝･月）	地元学生と一緒に可児川で水生生物観察会♪ カワゲラウォッチングとアクア・トトぎふ水族館&自然発見館でなぞとき探検！	小学1年生以上	可児市 各務原市	大　人 4,500円 中学生 4,120円 小学生 3,620円
7/22（土）	山の先生同行ツアー 森にはどんな働きがあるのかな？ 飛騨川流域の森で「川遊び・土遊び・木遊び」	小学1年生以上	下呂市	大人 3,150円 小人 3,150円
7/29（土）	お魚博士から学ぶ生物多様性と「絶滅危惧種ハリヨ」の不思議な世界♪ アクア・トトぎふで夜の水族館見学	小学5年生以上	大垣市 各務原市	大　人 5,500円 中学生 4,700円 小学生 4,300円
7/30（日）	海洋ゴミから環境問題を考えよう！ 南知多ビーチランドバックヤード見学とビーチクリーン活動	小学1年生以上	愛知県 知多郡	大人 3,750円 小人 3,750円
8/19（土）	「はざこ探検」って何だろう？！ 生き物博士と探す「国の特別天然記念物オオサンショウウオ」	小学1年生以上	郡上市	大人 4,650円 小人 4,650円
8/27（日）	気分は大学生♪大学生と一緒に絶滅危惧種について学んでみよう！ 「絶滅危惧種ヒメコウホネ」見学と岐阜大学キャンパス内でなぞときクイズラリー	小学1年生以上	岐阜市	大人 3,350円 小人 3,350円
9/2（土）	清流長良川あゆパークで長良川を調査してみよう！ 鮎のつかみ取り体験と箱メガネで水生生物観察会	小学1年生以上	郡上市	大人 4,800円 小人 2,500円
9/3（日）	morinosで伝統工芸から学ぶSDGs　木のある生活を始めてみよう♪ MYはし作り&本格漆塗りとスプーンに蒔絵で名入れ体験	小学4年生以上	美濃市	大人 5,650円 小人 5,650円

※参加対象者は、岐阜県内にお住まいの小・中学生と同伴の保護者（18歳以上の方）です。
　お子様のみのご参加はできません。必ず保護者同伴でお申し込みください。
　食物アレルギーがある場合は、申込時にご連絡ください。
※6月16日（金）12時から募集を開始しており、先着順のため、受付を終了している場合があります。


名古屋港水族館
バックヤードプチ見学

水生生物観察（岐阜大学）

MYはし作り

ツアーの参加申し込みはWEBのみ（先着順）
右記2次元コードよりお申し込みください。

こちらの記事は募集記事ではございません。

ツアーのお問い合わせは　（株）日本旅行　岐阜支店
TEL058-265-7501（月～金　13:00～17:00）（土日祝休業）

清流ミナモ

●その他のお問い合わせは TEL 058-272-1111 内線2947 岐阜県脱炭素社会推進課教育普及係まで

『地域循環共生圏』の構築に向けた取組みを支援します

岐阜県は「飛山濃水」と呼ばれるように、美しく豊かな自然に恵まれています。

各地域では、その自然を活かし、東濃ひのきや長良杉などの林業、飛騨牛や長良川のアユなどの農畜水産業が営まれ、更には、飛騨の家具や関の刃物、美濃和紙、美濃焼など個性的な伝統産業が生まれ、先人たちの手で守り、伝えられてきました。

このような地域の資源を地域の皆さんが認識し、最大限活用していくことが地域の発展には欠かせませんが、今後は、地域同士がそれぞれの特性を理解し、補完し、支え合っていくことも重要となってきており、国は「第５次環境基本計画」において『地域循環共生圏』の概念を提唱しました。

県では、この『地域循環共生圏』の構築に向け、地域が取り組む普及啓発や事業計画の立案などの取組みを支援しています。

【岐阜県地域循環共生圏促進事業　概要】

①対象事業

（１）地域循環共生圏構想を知り、広めるための事業（先進地視察、シンポジウム開催など）

（２）地域循環共生圏に関わる主体（市町村、企業、団体等）を増やしネットワークを構築するための事業（セミナー開催、広報活動など）

（３）地域循環共生圏について戦略を立てるための事業（事業計画等の作成、地域の魅力を掘り起こす事業など）

※地域循環共生圏を実践する（または、実践する予定の）地域や団体等として、「環境省ローカルSDGs」実践地域等登録制度への登録を目指す事業であること。

②事業主体

市町村、団体、法人

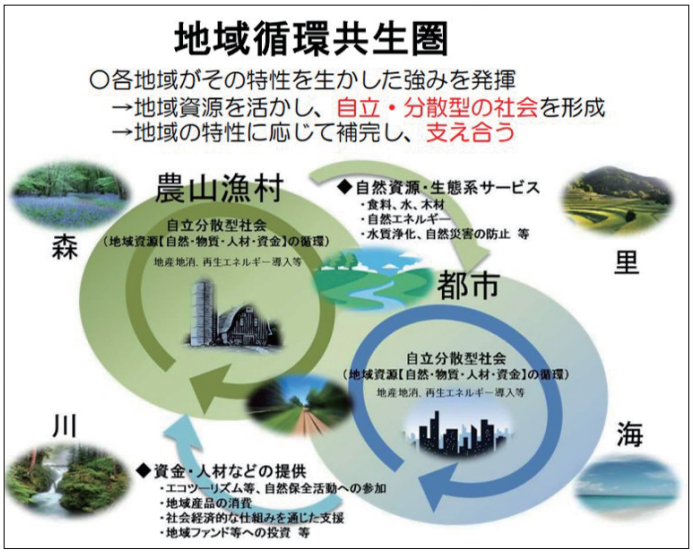
③補助率等

補助率　10／10以内　［１事業あたり　下限額：300千円、上限額：1,000千円］

令和4年度　採択事業

地域脱炭素のための推進事業（輪之内町）

里・山・川の保全・活用を通じた地域おこし（地域循環共生圏構想）調査事業（特定非営利活動法人　岐阜環境カウンセラー協議会）



出典：環境省「第５次環境基本計画」

地域循環共生圏とは？

出典：環境省「第５次環境基本計画」から抜粋

各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて近隣地域等と共生・対流し、より広域的なネットワーク（自然的なつながり（森・里・川・海の連関）や経済的つながり（人、資金等））を構築していくことで、新たなバリューチェーンを生み出し、地域資源を補完し支え合いながら農山漁村も都市も活かす「地域循環共生圏」を創造していくことを目指す。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線2943 岐阜県脱炭素社会推進課企画係まで

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

2

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

木の香る快適な公共施設等整備事業

岐阜県産材を用いて、教育・福祉関連施設等を木造化または内装木質化する場合に支援を行う事業です。

■令和５年度　事業概要

（１）事業区分

・木造化　　：建築物の主要構造材に木材を使用すること

・内装木質化　：建築物の内装に木材を使用すること

・木造施設の修復　：文化財（建物）の修復

（２）対象事業者：市町村、学校法人、社会福祉法人等

（３）対象施設　：教育関連施設（幼稚園、小中学校、高等学校等）

福祉関連施設（保育園、認定こども園、特別養護老人ホーム等）

木造施設の修復（県が指定する重要文化財または重要有形民俗文化財）

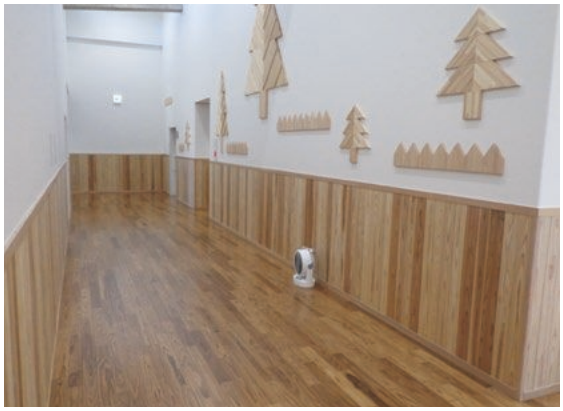
（４）補助金額　：木造化…17,000 円／㎡、内装木質化…10,000 円／㎡、木造施設の修復…１／２以内の額

■令和５年度　支援予定団体

事業主体	施設名称	所在地	事業区分
（社福）堂角舎	岩野田保育園	岐阜市	内装木質化
大垣市	ひまわり学園	大垣市	木造化
美濃市	美濃市美濃会館	美濃市	木造化
郡上市	大和小学校（校舎）	郡上市	内装木質化
下呂市	（仮称）下呂市新子育て支援施設	下呂市	木造化

■令和４年度　施工事例

ぎふ村温泉特定施設
（中津川市）



坂祝町子育て支援拠点施設
（坂祝町）

【利用者の声】

・子どもの環境として、自然の物に包まれているのは、良い事だと感じている。

・安定感が感じられる。　・木独特の温もりがあり快適。　・上質な住空間だと思う。

【県産材流通課】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（4368）県産材流通課木造建築推進室消費対策係まで

木の香るぎふの施設 124

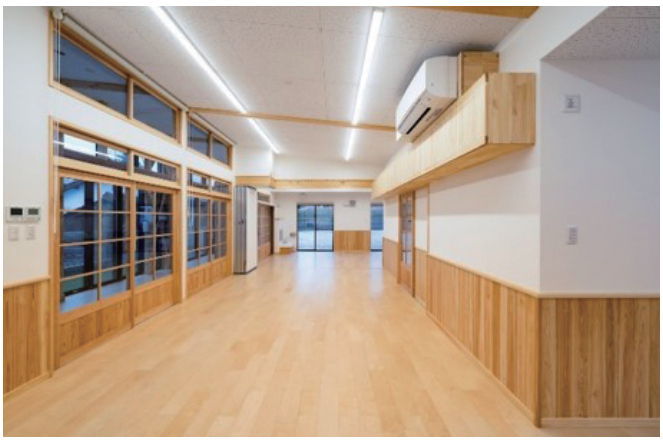
木造化

家庭保育園くっく　大平分園

岐阜県中津川市駒場字大平1584番地3

施設の概要

事業年度	令和4年度
事業主体	株式会社　家庭保育園くっく
構造 延床面積	木造平屋 178㎡
施設用途	認可小規模保育園
木材使用量 使用樹種	25.6502㎥(うち県産材使用量21.8343㎥) ヒノキ・スギ
全体事業費	71,720千円
助 成 額	3,026千円(県産材需要拡大施設等整備事業)
設 計 者	株式会社　ユーエス計画研究所
施工業者	株式会社　木構建
工　　期	令和4年10月17日～令和5年2月28日



施設の経緯

家庭保育園くっく　大平分園は、未満児（3歳未満）を預けたいという保育ニーズの高まりに対応すべく、建設しました。

子どもたちに自然のものに触れてほしいという想いから、木のぬくもりがたくさん感じられるよう、園内のいたるところで木に触れることができるよう設計されています。また、自然光をいっぱいに取り入れることができるよう南側のファサードは、ガラス面を多く採用しました。既存の保育園とは一線を画す外観も特徴の一つです。

施設全景

ここに注目！！

筋交いや間柱をあえてむき出しのままにしたり、腰壁や扉、造作家具にいたるまで、木材をふんだんに使用しています。華美な装飾は極力避け、木本来の良さを感じられる造りとなっています。

利用者の様子

木に囲まれた広々とした廊下は、子どもたちのお気に入りの場所です。

木のぬくもりに触れながら、元気いっぱいのびのびと生活しています。

■問い合わせ先
株式会社家庭保育園くっく
TEL 0573-65-3762

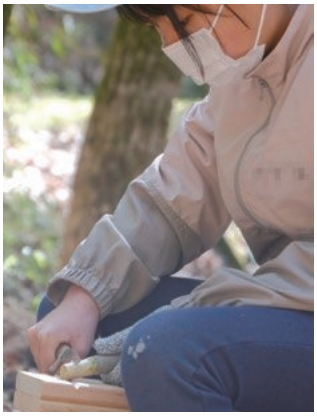
森で楽しむナイフクラフト

岐阜県立森林文化アカデミー　木工専攻　講師●前野　健

季節はもう夏本番。そろそろ夏休みの予定も考え始める時期だと思いますが、そこでご提案です。この夏、森に行ってナイフで遊んでみませんか？

私は令和4年の6月から、関市の岐阜県百年公園をフィールドに毎月1回「おとなと子どもの里山ナイフ教室」という講座を学生、卒業生達と一緒に行っています。この活動は子ども（年長児以上）から大人までを対象にナイフクラフトを体験してもらう初心者向けのナイフ教室です。

これまで作ったアイテムはミニカー、フォーク、ジャムスプーン、フラワーポット、サンタクロース、動物のマスコットなどなど、毎回、参加者たちと一緒に森に入り、木を切り出すところからモノ作りを楽しんでいます。


間伐した枝で作品づくり

この里山整備（間伐）とナイフクラフトを組み合わせた活動は2年目を迎え、毎回20名前後の参加者が集まり、人と森をつなぐ場になってきました。最近では2回目、3回目のリピーターも増え、親子での参加や、おばあちゃんがお孫さんを連れてきたり、職場の仲間で一緒に参加されたり、ブッシュクラフトやグリーンウッドワークへの興味をきっかけに参加して頂く方もいらっしゃったり、色々な思いでこの場を楽しみに足を運んで下さいます。最近は子ども達に自分でナイフの使い方を教えたい！という熱い思いで参加して下さる方もいらっしゃるようになりました。

「参加対象は年長児から」としているのですが、「4歳ですが（または3歳ですが）参加できますか？」という問い合わせもたびたびあります。そのような時は「刃物への恐怖心が強くなければ、やる気が続く限りやってみましょう」という風に様子を見ながら参加してもらっています。フタをあけてみると年少児であっても楽しさが勝れば最後まで作品を作り上げることはできるようです。さすがに「2歳ですけど…」という問い合わせの時はどうしようか考えましたが…

他にはこんなこともありました。1回目の時は小さなお子さん連れで参加されたお母さんが、2回目の時はひとりで来られて「今日は自分が楽しみたいから、子どもは預けてきました！」と楽しそうにおっしゃるのです。お子さんが小さい時期のお母さんが「自分のためだけに使える時間」はとても貴重です。それを森のナイフ教室のために割いて頂けたのは、嬉しい出来事でもあり、また、それだけの価値を感じて頂けたことに、この活動の意義というものを考える機会になりました。

ナイフクラフトで多世代交流

この夏、機会があればぜひナイフで木を削る体験をしてみて下さい。きっと素敵な発見があるはずです。コツはまずはあせらず少しずつ、樹皮を削るところからスタートすることです。知識や技術が不安で…という方は「おとなと子どもの里山ナイフ教室」にお気軽に遊びに来て下さい。他にも岐阜県内を探してみると、色々なところでナイフクラフトの体験ができる場が増えてきています。興味を惹かれたら、まずはお近くのワークショップに足を運んでみて下さい。

（おとなと子どもの里山ナイフ教室の活動はmorinosのウェブサイトからご覧頂けます）

1本の木から個性的な作品が生まれます。

●詳しい内容を知りたい方は　TEL (0575) 35-2525　県立森林文化アカデミー まで

雪害の危険度が高い林分の把握について

森林研究所●久田 善純

はじめに

何年もかけて大切に育ててきた人工林が気象害などの災害を受けることは、林業経営にとって大きな痛手です。森林研究所では、気象害の一つである冠雪害（着雪の重みによって幹折れや倒木が起きる被害）の危険度が高い地域をマップ化し、当所のホームページで公開しています（※1）。

冠雪害を軽減する対策

針葉樹人工林では、形状比（樹高÷胸高直径）の値が高い〝ひょろ長〟の林木は冠雪害を受ける可能性が高くなります。よって、危険度の高い地域内では適期の間伐により幹回りの成長を確保し、がっしりした健全な林分を仕立てるよう心掛けることがとても重要です（スギの場合、形状比70程度が目標）。

既に形状比が高めになっている林分に対しては、優先的に間伐を行うよう計画することが望ましいです。ただし、間伐が過度に遅れた林分では、すぐに形状比を下げることは難しく、かえって危険な林相になる場合があるので、弱度の間伐を繰り返しながら徐々に健全な林分に誘導する配慮も必要です。

間伐の優先度を考えるために

前述のマップは、気象的なリスクを約1㎞メッシュ単位で表示したものです。大まかなエリアを示しているだけなので、間伐の優先度を計画するためには、そのエリア内における危険度の高い林分を具体的に絞り込む必要があります。

そこで、絞り込む手段として、航空レーザ測量データの解析により県が作成した「密度の高い林分の情報（森林疎密度解析の成果）」を用いました。密度が高い林分では形状比が高くなっている可能性があるからです。

冠雪害はスギで発生する事例が多いため、密度が高い林分としてスギの「密」、「過密」（※2）の林分情報を用意し、気象的リスクの情報と組み合わせることにより、図1のように「冠雪害危険林分」を試行的に区分しました。

現在、それらの林分を抽出して図示した資料を、県下全域について順次作成しているところです（図2）。

資料の提供について

冠雪害危険林分を図示した資料については、大判紙へ印刷する体裁のほか、GIS上で閲覧できるようシェイプファイルとして提供することを計画しています。図1の危険度ランクの分け方については、利用者の希望に応じて設定を変えることもできます。

現時点では市町村への提供を予定しています。また、森林経営計画をたてる事業体の方へ提供することも検討しておりますので、関心のある方は森林研究所または農林事務所へご相談ください。

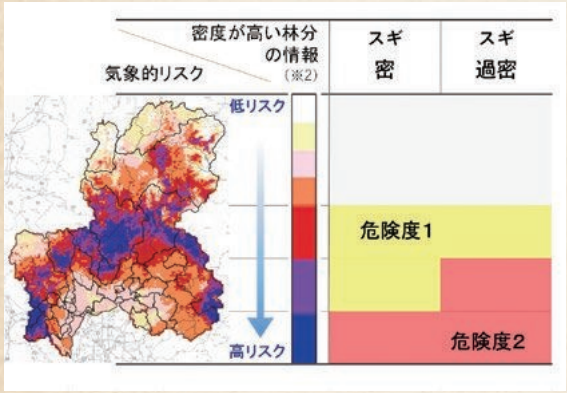


図1　密度が高い林分の情報と気象的リスク情報の組み合わせによる冠雪害危険林分（危険度1,危険度2）の区分

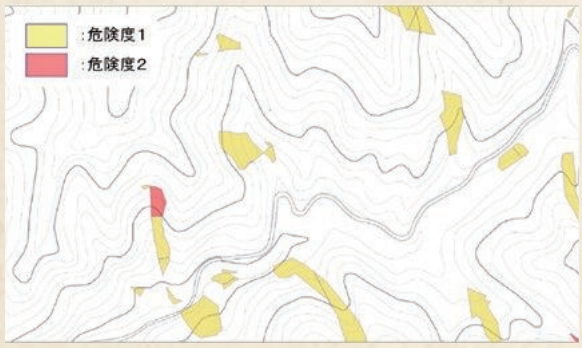


図2　冠雪害危険林分の提示資料の例

※1：「ぎふ森林情報WebMAP」（https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/shiyou/sinrinwebmap.html）→森林管理のための情報地図→レイヤーリスト中の「冠雪害危険度」にて閲覧することができます（ただし4段階表示版として公開）。図の詳細についてはぎふ森林研情報№90（https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/rd/kankyou/mj9003.pdf）を参照してください。

※2：森林疎密度解析において、「過密」は相対幹距比14％未満かつ樹冠疎密度80％以上の林分、「密」は相対幹距比17％未満の林分のうち「過密」を除く林分を指します。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-33-2585
森林研究所まで

山づくりに真摯に向き合う

～森林所有者の自主的な取組の支援～

■西濃農林事務所
林業普及指導員　柘植 孝久

はじめに

当管内の民有林面積は、県内全10農林事務所で最も少ない約2万3千haとなっています。また、林業の主な担い手である「意欲と能力のある林業経営体」も管内を主たる事業所とする者は、西南濃森林組合の1者で、同組合は、森林を有する5市町すべてをカバーし、森林所有者における組合加入率は、県下5位にランクインするなど、同組合が管内森林の主たる林業事業体であることは、数字からも明らかです。

一方で、当管内は、森林と人との生活圏が隣接している地域が多いことも特徴です。このことは、当管内の環境保全林率が約82％と全農林事務所で2番目に高く、県平均の約70％と比べて10ポイント以上も高いことからもわかります。以上のような地域特性を有する当管内では、森林組合に施業を任せつつも、森林所有者等が自発的に自ら行動されることもあります。今回は、そうした森林所有者等の自発的な取組みに対する支援など、その一部を紹介します。

地域とともに、先ずは自らやってみる！

大垣市上石津町牧田地区のとある事業所では、同事業所内に自生するアオギリの初期段階の成長速度の早さに着目し、同事業所内の緑化木として育成を試みたいと相談がありました。

また、同事業所では、同地区内で計画されていた電線の線下伐採に関連して森林所有者から相談を受けていたこともあり、線下伐採地も含めた同者が所有するスギ等の森林約0・82haの皆伐に関わるとともに同伐採跡地の一部に事業所内から株分けしたアオギリを試験的に植栽され、その状況について当所に助言等を求められました。

【写真1】植栽されたアオギリの大苗（シカ食害を避けるため、H= 約 3m）

これらに関して、県森林研究所と協働により、現地調査を実施しましたが、現時点では、林地におけるアオギリの成育に関する研究結果等がほとんどないため、県としては情報収集を図っていくとともに、試験状況を見守り、必要に応じて助言するなど支援していくこととなりました。

所有森林の最大活用を目指して！

養老町養老公園一帯は、上中流域には、日本の滝100選の名瀑「養老の滝」を始め、東海自然歩道や養老山頂登山道が縦断しています。また、下流域には、明治13年に開園した「県営都市公園・養老公園」など、上流から下流まで一帯が「憩いの場」として、毎年約100万人の方々が来訪される、県下有数の森林と人との親和性が高い地域となっています。

こうした地域特性から、当所には、以前から地元の森林所有者から当地域ならではの森林の新たな価値を見い出す取組みや見方・考え方などについて相談を受けており、それらを受けて取組みに至った主なものには、県森林・環境税による観光景

観林整備事業の継続的な実施などがあります。

また、ここ数年では、ＳＤＧｓやカーボンニュートラルを始め、森林がさらに二酸化炭素吸収源として注目されている中、この所有者は、時代の要請に応じた森林の活用方法についても模索していました。

そうした中、視点を変え、新たな切り口から、何かヒントが得られないか思案していたところ、「森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会（事務局：県森林活用推進課）」において、森林所有者のこれまでの取組みなど事例紹介の機会をいただくことができました。このため、県地域森林監理士である西南濃森林組合の髙木業務課長とともに事例紹介のための認識の擦り合わせ、目指す方向性の共有、そして資料作成及び当日の発表を支援しました。

【写真2】「森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会」での事例紹介支援（正面、右から3人目が発表者（森林所有者））

事例紹介に対して、参加委員からは「養老の立地はアクセスも良く資源力もあり、マーケットの可能性があるのではないか」といった前向きな意見などもあり、今年度も検討が継続されることから、引き続き支援していきます。

最後に

当所は、管内民有林面積が県下で最も少ない事務所ですが、森林に対する所有者等の想いについては、規模の大小は関係ないと思っています。引き続き、可能な限り、森林所有者等の方々の想いに寄り添いつつ、所有者等の意欲がさらに喚起できるよう業務に携わっていきたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0584-73-1111
西濃農林事務所まで

森林技術開発・支援センター　きのこ通信 ①

GAP（ギャップ）―農業生産工程管理について（1）

GAPとは、農産物生産者自身が農業経営の「悪い」ところを「良い」へ改善する取組みのことで、「良い（Good）農業の（Agricultural）実践（Practice）」の頭文字を取った言葉です。

GAPでは、適正な農薬使用や異物混入防止など安心・安全な農産物の生産に加えて、労働者の安全確保や人権保護、環境保全に配慮した農業生産活動が行われており、ヨーロッパから拡がりました。

日本では、2021年に開催された東京オリンピックで選手へGAPにより生産された食材の提供が求められ、取り組む生産者が増え始めました。

＊

生産者は、食品安全対策など前述の取組みについて、工程にどのような危険性（リスク）があるかを洗い出し、対応策を考えて実践し、実践結果を見直して、また改善を図ることで、継続的な経営につなげます。（PDCAと呼ばれる手法です。）

このような生産者の努力を消費者に客観的に示すため、専門機関による認証制度が作られています。

制度には、販売先の広域化に対応する国際・全国基準のGAP認証や、取組みのファーストステップとなる「ぎふ清流GAP評価制度」などがあります。

GAPで生産された農産物がこれからは標準となることを見据え、岐阜県では農業者のGAPを推進しており、森林技術開発・支援センターではきのこ生産者の取組みを支援しています。

（生産者の取組み状況は、次回のきのこ通信で…）

岐阜県内では令和5年4月現在、7件のきのこ生産者がGAPの認証等を受けています。
写真は令和5年3月に行われた「ぎふ清流GAP評価制度証書交付式」の様子（県庁舎20階清流ロビーにて）

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-35-2535
森林文化アカデミー　技術普及係まで

国有林の現場から 81

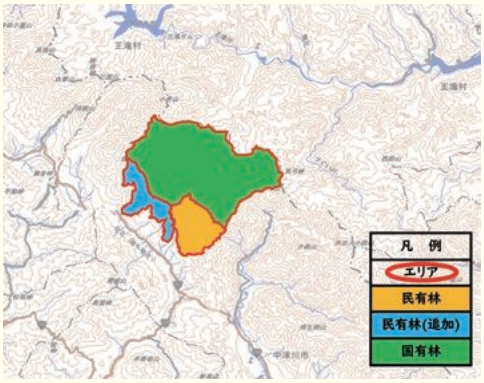
中津川市加子母地区 森林整備推進協定

国有林では岐阜県内7箇所において隣接する民有林と森林整備推進協定を結び、双方が協力し効率的な林業経営等が行えるように取り組んでいます。

今回は、その内の一つである「中津川市加子母地区森林整備推進協定」について紹介します。

この協定は、平成24年3月27日に中津川市加子母地区にある民有林555ha、国有林3,228ha、合計3,783haの森林を対象として、岐阜県林政部長、中津川市長、岐阜県森林公社理事長、王子製紙株式会社資源戦略本部副部長、中部森林管理局東濃森林管理署長の5者にて協定を締結しました。

この協定の有効期間は中津川市森林整備計画(「森林法」の規定に基づき、中津川市が市内の民有林を対象に森林関連施策の方向や造林から伐採までの森林の施業及び保護等の規範を示し、適切な森林整備等を推進するために5年ごとにたてる10年間の計画)、木曽川流域地域管理経営計画(「国有林野の管理経営に関する法律」の規定に基づき、国有林野の管理経営の考え方や伐採等の事業の総量等について、森林管理局長が流域ごとにたてる5年間の計画)の計画期間に合わせたものとなっており、当初から平成30年3月31日で一度目、平成30年4月1日から平成35(令和5)年3月31日に二度目の更新期を迎えました。



森林整備推進協定の区域

今回は、更新期を迎えるにあたり関係者と調整を図り、この協定へ木曽三川水源造成公社理事長、加子母森林組合代表理事組合長の2者にも加わっていただき、民有林は当初の協定面積から倍増の1,063haとして再出発することとなりました。

これからも民有林、国有林が一体となって、地域林業の発展に向けて取り組みます。

【協定の解説】

協定地を含む中津川市加子母地区は、古くは裏木曽三ヶ村(加子母・付知・川上)の一つとして、西暦1,300年代頃から伊勢神宮の式年遷宮材を始め、銀閣寺、駿府城、名古屋城、江戸城などの歴史的・文化的建造物の建築用材を供出してきました。

現在では、「裏木曽地域」と称され、昭和の時代に入ってからも伊勢神宮はもとより、姫路城や名古屋城の改修工事用に樹齢300年を超える木曽ヒノキが利用されています。

また、81%の人工林率を誇る民有林を中心として銘柄材「東濃桧」などの優良材生産が活発に行われています。さらに、森林の内容を見れば単層林、複層林、針広混交林など、多様な森林を有する地域です。

一方、多様な森林と木曽川に注ぐ付知川などの清流がマッチした風光明媚な地域であることから、毎年多くの人々がこの地を訪れます。

この「裏木曽地域」の特質を踏まえ、民有林と国有林が連携して以下の取組を推進することとしています。

(1)多様な森林を利用し間伐の方法など森林づくりや路網の作設技術などについて学習します。

(2)ヒノキを中心とした木材の有利販売や森林資源の有効利用について学習します。

(3)都市部住民や地元の子供達に対し、森林環境教育や林業体験を実施することにより、森林の重要性や林業・木材産業について学習してもらう取り組みを行います。

(4)素晴らしい森林空間を利用して、レクリエーションの場を提供します。

(東濃森林管理署)

森林整備推進協議会運営委員会の様子

森林・林業関係イベントカレンダー（7～9月）

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
7月11日㈫	**刈払機取扱作業者安全衛生教育**	●講習時間：学科　8:55～15:20 実技　15:30～16:30 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定　員：50名(定員になり次第締め切ります。)	恵那建設会館（恵那市大井町 2087-276） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
7月12日㈬～ 7月14日㈮	**伐木等の業務（チェーンソー）に係る特別教育**	●講習時間：12日　学科　8:50～17:10 13日　学･実　8:50～12:00 14日　実技　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定　員：50名(定員になり次第締め切ります。)	12日（学科）13日（学・実） 恵那建設会館（恵那市大井町 2087-276） 14日（実技） 加子母森林組合（中津川市加子母 4872-5） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
8月2日㈬～ 8月3日㈭	**木材加工用機械作業主任者技能講習**	●講習時間：2日～3日 8:30～17:40 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：17,600円(本代含む)(振込み) ●定　員：40名(定員になり次第締め切ります。)	ＪＡひだ吉城営農センター (飛騨市古川町上野 571-1) 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
9月4日㈪～ 9月6日㈬	**伐木等の業務（チェーンソー）に係る特別教育**	●講習時間：4日　学科　9:20～17:30 5日　学･実　8:50～12:00 6日　実技　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定　員：50名(定員になり次第締め切ります。)	4日（学科）5日（学・実） 下呂交流会館（下呂市森 2270-3） 6日（実技） 南ひだ森林組合（下呂市乗政 25-1） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195

コラム

私の家の小さな庭には1本のニシキギがあります。これは、平成18年に下呂市で全国植樹祭が開催された時に、サテライト会場でもらった苗木を植えたものです。ニシキギは落葉低木で、枝に硬いコルク状の翼のようなものをつける特徴があり、秋には葉が紅葉します。庭に植えた時は、50㎝くらいの大きさだった苗木が、現在では高さ3m、根元の幹の直径は10㎝程度に成長しました。

昨年、庭の隣の土地に新たに家が建ったため、ニシキギの枝が隣の敷地に侵入しないように剪定を行いました。1時間程かけて枝の切り落としや切り口への保護剤の塗布などを行いました。けっこう強めの剪定を行ったので、木の成長を心配しましたが、春には新緑の葉が勢いよく茂りました。

晴れた日に窓から光の当たったニシキギの葉が見えると、緑の癒しの効果なのか、何か落ち着いた気分になります。ニシキギは四季を感じられる木で、秋には美しい紅葉を見せてくれることを楽しみにしています。

「森林のたより」編集委員　増田　学

イベント情報　8月1日発行

連載
- 山の歳時記（216）
- 山のおじゃまむし（385）

清流と森と親しむ
- 森林と人を活かす知恵（127）

木と親しむ
- 岐阜県の公共木造建築（125）

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術
- 研究・普及コーナー

市況情報　**その他**

8月号予定

木材市場

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎥当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1825回 岐阜共販所 6月13日	すぎ	3m	16～18cm	15,000	—	→
		4m	16～18cm	14,400	—	→
			20～22cm	15,300	—	→
			24～28cm	15,300	—	→
			30cm以上	13,500	18,500	↘
		6m	16～18cm	—	—	↘
	ひのき	3m	16～18cm	20,500	—	↘
			20cm以上	18,800	27,000	↘
		4m	16～22cm	20,300	—	↘
			24～28cm	19,000	—	↘
			30cm以上	18,700	61,800	↘
		6m	16～18cm	—	—	↘
第1412回 飛騨共販所 6月14日	すぎ	3m	16～22cm	15,000	—	↘
		4m	24～28cm	16,000	—	↘
			30cm以上	15,000	22,000	↘
	ひのき	3m	16～18cm	20,500	—	↘
		4m	20～22cm	19,800	—	↘
			24～28cm	19,000	—	↘
			30cm以上	20,000	38,600	↘
		6m	16～20cm	26,000	—	↘
	ひめこ	4m	24～28cm	20,000	—	→
			30cm以上	15,000	24,800	→
		5m	30cm以上	—	—	→
	くり	4m	24cm以上	15,000	32,000	→
第1745回 東濃共販所 6月8日	すぎ	3m	16～22cm	15,100	—	→
		4m	24～28cm	14,800	—	↘
			30cm以上元	15,000	28,000	→
	ひのき	3m	16～22cm	20,000	—	→
			24～28cm	18,000	30,000	→
			30cm以上元	25,000	—	→
		4m	13cm以下	10,000	—	→
			24～28cm	18,300	—	→
			30cm以上元	25,000	84,000	→
		6m	18～22cm	29,500	—	↘
	まつ	4m	22～28cm梁	—	—	→
			30cm以上元	11,000	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

全体的に製品の販売苦戦によりヒノキ、スギは、下げ傾向にて相場は弱含み。スギ4m元木、尺上良材については応札はあるが、様子見にて弱含み。スギラミナ向け3m·4m材は弱含み。ヒノキ元木、尺上良材3m·4m役物取りは、応札はあるが様子見にて弱含み。ヒノキ3m柱取、4m土台取りも、弱含みの展開となっている。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

製材用丸太は傷みが心配される時期になり、先安観も出てきた。広葉樹は出材も多く、良材は応札旺盛だが並材は価格が伸びない。高値はシナ4m×42cm@30,300円、カエデ2m×38cm@34,200円、ナラ2.1m×36cm@44,000円、ホウ2m×40cm@36,500円、マクルミ2.1m×28cm@35,000円、セン2.1m×36cm@32,300円、クリ2m×34cm@32,300円。(飛騨)

住宅需要の低迷と原木の材質低下が懸念材料となり、ヒノキ、スギ共に引き合いは低調。ヒノキ元木良材3m·4m尺上、40cm上役物取りは応札はあるが、当用買い傾向が強く弱含み。3m柱向け(14cm～24cm)、4m土台·中目は、荷動き重たく弱含みでの展開。スギ4m中目尺上元木良材も水上がりの時期に入り様子見に終始した。3m·4m構造材向けは市中製品価格軟化の影響を受け一段と弱含みで推移。合板向けについては、製品荷動きが鈍く弱基調、特にヒノキ、カラマツは原木受入調整が一段と厳しく継続している。(東濃)

製品卸売標準価格 (5月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm) 長	巾	高	等級	m³当り価格	(本(枚)単価)	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	80,000	(2,646)	→
	間柱	3000	105	30	1等	80,000	(756)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	60,000	(2,646)	→
	柱	3000	120	120	特等	80,000	(3,456)	→
		6000	120	120	特等	165,000	(14,256)	→
Wウッド 集成材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	↘
		3000	120	120	国産5層	98,000	(4,200)	↘

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場　全てKD材)

外材市況 (5月期)

単位:100円(1㎥当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	468	→
	コースト(目荒)	432	↘
米栂	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに?～木材用語～

タルキ

屋根材で、母屋に直交するように傾斜方向に設置される小割り材。タルキの上に野地を施工し、ルーフィング材などを用いた上に屋根材を乗せる。屋根タルキだけではなく、マンションの天井の桟組みなどにも用いられる。

(参考)日刊木材新聞社　木材·建材用語辞典